



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



第40号 目次

院長の言葉	1
行事紹介	
看護学生の「放射線科見学実習」を開催して	2
第48回生 卒業式	3
第51回生 入学式	
地域医療連携	4
お知らせコーナー	
神奈川県がん診療連携指定病院に指定されました	4
ジェネリック医薬品ってどんなお薬？	6
摂食・嚥下外来のご案内	6
外来担当医表／編集後記	7



発行 月：平成25年6月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会
 発行責任者：工藤 一大
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電 話：045-851-2621
 FAX : 045-851-3902
 URL : <http://www.yokohama-mc.jp>



●当院携帯サイトはこちらから

院長の言葉

非常に寒かった冬も一転3月中旬からは初夏のような気温となり桜も一気に開花し、4月には散り始めてしまいました。

今年も80数名に及ぶフレッシュな看護師を迎え、また医師の増員・交代、そして薬剤師7名、理学療法士2名、言語聴覚士1名、臨床工学技士1名の増員があり、大勢の新たな仲間を迎えることとなりました。これらの仲間と共に地域の患者の皆様により安心・安全な医療を提供できるように体制を整えてまいりたいと考えております。

今回は、当院が昨年度目標としてきた二つの重点項目について、これまでの経緯と今後を述べてみようと思います。



院長 工藤 一大

当院はがん医療に力を入れてきており、がん診療機能の充実、セカンドオピニオン外来の設置、緩和ケアチームによる身体と心の痛みへの支援、がんに関する相談支援センターの設置などを進めてまいりました。このような診療・支援体制が認められ、この4月より神奈川県がん診療連携指定病院と認定されました。今後もより一層がん医療・患者支援の充実に向け努力していく所存であります。

また、地域の災害時の拠点病院として、大災害時の医療体制の確保のための対応策を検討し、充実を図ってまいりました。停電時の非常発電装置としては重油を使用する装置があり、2011年3月の計画停電時には外来・入院診療や手術室の機能維持に有用でありましたが、さらに充実した非常発電装置として都市ガスによる発電装置の設置を計画しております。これには、発電+排熱利用でエネルギーを有効利用でき、契約電力を低減して電力料金を節約し、系統からの購入電力を削減する事ができ、節電に寄与するとされる非常用発電機兼用ガスコージェネレーションシステムの導入を計画しております。また災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた災害派遣医療チームDMAT指定病院の認定を目指し、DMAT有資格者を増やすことを目標としてきましたが、昨年9月5日から8日までの4日間、兵庫県災害医療センターにて5名の職員が研修を受け日本DMAT隊員に登録され、2月6日に施設認定されたところです。少しずつではありますが、災害に強い病院を目指し設備、スタッフを充実させてきましたが、これからもさらに地域の皆様に貢献できる病院を目指して努力していきたいと考えております。

当院の理念であります「患者中心の医療」、「地域完結型医療」、「地域で選ばれる病院」を目指して努力してまいりましたが、今年度も一層努力し、地域の関係医療機関や行政とも密に連携して「医療の質と安全」の向上に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

行事紹介

看護学生の「放射線科見学実習」を開催して 診療放射線技師長：塚田 勝

平成24年12月19日、昨年に引き続き2回目の当院附属看護学校3年生の見学実習を行いました。見学に先立ち一般撮影、CT検査、MRI検査、血管撮影、核医学検査、放射線治療担当の各主任診療放射線技師が将来看護師候補の皆様とチーム医療を実践していく中で協力願いたいことを中心テーマに講義を行いました。その後3グループに分け見学となりました。

一般撮影装置で胸部エックス線検査は皆受けたことがあり、なじみのある装置ですが、特殊検査や放射線治療はほとんど体験した人はいません。

よく知られているCT検査も、診療で行われている画像処理を見る機会はほとんどありません。画像処理により一つのデータで全く違う画像が現れます。例えば頭でも脳実質・骨・脳血管さらに顔の表情まで変化します。その瞬間を目にし、画像処理のすごさと重要性を実感してもらいました。また、MRI装置では磁場に金属(磁性体)が引き寄せられる強い力を体験してもらい、その危険性も理解できたことと思います(写真1：スパナが装置本体に引き寄せられている)。しかし、金属と認識されていないもの多くあり、職員が身に付けていたものが装置に引き寄せられた事例もあります。例えば、当院ではありませんが、健康器具の一種であるアンクルウエイトが吸着した事例もあります。この体験を通して、今後検査室への金属持ち込み防止のキーパーソンとなることを望みます。

血管撮影では、通常の検査では清潔操作のため手に取って見ることができない実物の特殊器具に触れてもらい、その使用目的・方法を実際の検査画像を見ながら確認してもらいました。

核医学検査では、放射性同位元素を使用する上での安全性や、検査室内(管理区域)で汚染を防止するための仕組み等を説明しました。また、検査で用いる放射性医薬品のもつ半減期についてと、その医薬品を投与直後、数時間後とタイムスケジュールに沿って行っていく特徴のある検査であることを理解してもらい“時間”というファクターが検査をスムーズに、かつ正確な結果を出す上で非常に重要であることが伝わったのではないかと思います。

放射線治療は特に大きな装置で圧迫感があります。実際に自分がお世話になり経験する機会が少ない装置ですが、治療を継続していくうえでの注意事項や副作用について理解することが必要です。これらの知識なしでは、患者の皆様へのケアはできません。また、放射線は目に見えませんが、治療計

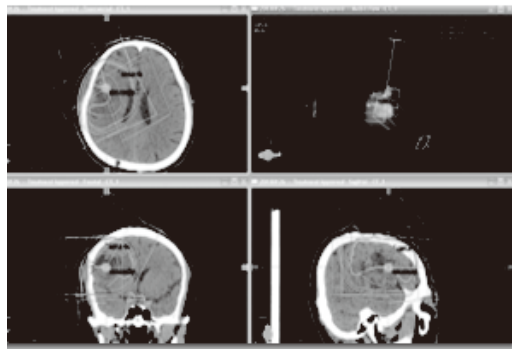


写真2

画装置を用いることにより人体の中の放射線分布を正確にモニター上に表わすことができます(写真2：脳内の放射線分布)。その情報により精度の高い放射線治療を進めていることも見学してもらいました。

約2時間という限られた時間での体験でしたが、実際に病院勤務をしても見る機会が少ない部分を中心に見学してもらいました。少しでも将来に役立つ体験となるよう今後も工夫しながら、継続させていきます。

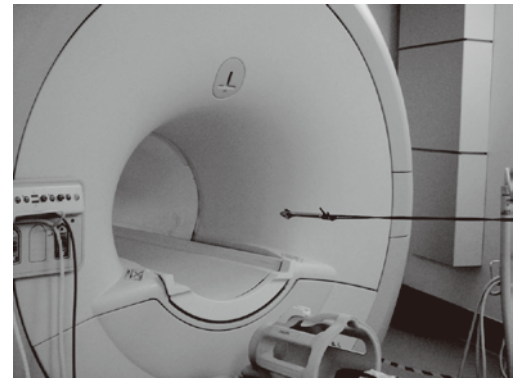


写真1

行事紹介

第48回生 卒業式

教員 増山 玲子

今年も平成24年3月8日に第48回生75名の学生たちの卒業式を無事に終えることができました。学生たちは、ご来賓の皆様からの温かい励ましの言葉に気持ちを引き締め、3年間の思い出を胸に、ここ横浜看護学校から元気に巣立っていきました。

卒業式での学生たちの希望にあふれた表情を見ると、教員の気持ちとしてうれしくもあり、さみしくもあり、少し複雑な気持ちで「皆さんがこれから歩いていく看護師と言う道は楽しいばかりではなく、辛いこともあると思います。そんな時は、ここ横浜看護学校で過ごした3年間の思い出し、『一人じゃない！仲間がいる！』ということをどうぞ忘れないでください。」というエールを送っています。

まだまだ未熟な新人看護師達48回生ですが、皆様どうぞ温かく見守り、ご指導いただけたらと思っております。



第51回生 入学式

教員 村田 眞紀子

春の日差しが心地よい、4月5日（金）に第51回生の入学式が行われました。

新入生認証では、緊張した雰囲気の中、担任より名前を呼ばれると、一人ひとり大きな返事をし、その声からは、入学への喜びや看護師になるべく決意を感じとることができました。

今年度の学生は、入学生84名を迎え総勢249名となりました。今後は看護学生として専門的な知識や技術など新たな学習が始まります。この3年間の中で、感動や歓喜、また辛い状況に直面することがあるかと思えます。そのような時には、看護師になるという夢の実現に向けて、私たち教職員一同サポートしていきたいと思えます。それぞれの学生が、一人の人間としても成長できるよう、どうぞ皆様も第51回生を今後も温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。



※入学式の情景を短歌にしてみました。

心地よい 風に包まれ 入学し

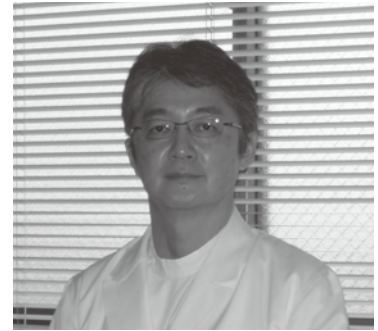
看護の道へ 決意あらたに

地域医療連携

病診連携施設紹介 林内科クリニック

診療科目：内科 循環器科 消化器科 呼吸器科

平成8年11月に、いずみ中央クリニックビル（泉区上飯田町）の1階に開業し、今年で17年目になりました。同じビルの2階には『くろしお整形外科』、3階には『ふくだ小児クリニック』があり、協力しあって診療しています。開業前は、国際親善総合病院循環器内科に勤務していました。



林 院長

私のクリニックの特徴は、祭日以外に一日休診の日がないことです。土曜日の午後や、日曜日の診療は、仕事を持っている患者さんや、クリニックに付き添ってくれる家族が仕事を持っているお年寄りの方には喜ばれているようです。その反面、かなり状況が悪化しても週末まで来院されないという方もおられ、病診連携なくしては、やっていけないと思っています。また、医療法人としてやはり上飯田町に認知症対応型グループホームを運営しています。

横浜医療センターの先生方には、いつお願いしても快く急患を受け入れてくださり、本当に感謝しています。またクリニック通院中の患者さんが、救急や紹介などでお世話になることも度々あり、申し訳ないと思ふと同時に大変ありがたいと思っております。また、内容豊富な講演会も多数催され、楽しみにしています。今後とも、よろしく願いいたします。



林内科クリニック

〒245-0018 神奈川県横浜市泉区上飯田町938
いずみ中央クリニックビル1F TEL：045-805-1130

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	●
午後 14:00～18:00	●	●	●	/	●	※●	/

休 診 日 木曜午後・日曜午後・祝日

※土曜午後は17:00まで

お知らせコーナー

神奈川県がん診療連携指定病院に指定されました

がん診療連携支援部長・統括診療部長 関戸 仁

この度、当院は神奈川県がん診療連携指定病院に指定されました。平成25年4月1日より、がん診療連携指定病院として質の高いがん診療をさらに進めてまいります。

がん診療連携拠点病院は、全国どこでも質の高いがん医療を提供できるよう、がん医療の均てん化を戦略目標とする「第3次対がん10か年総合戦略」等に基づき、国がその整備を進めてきたところでした。2012年4月1日現在、397施設あり、各都道府県知事からの推薦を受けた医療機関について、厚労相が指定していました。ところが昨年秋に国は「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」を立ち上げ、がん診療連携拠点病院の指定要件などの検証を行うため、毎年実施していた新規の指定を見送ったところでした。これを受けて神奈川県が国の要件をそのままに指定を行いました。

これまで横浜市西部医療圏のがん診療連携拠点病院には、横浜市民病院と神奈川県立がんセンターがありましたが、戸塚区、泉区に居住するがん患者さんの多くは、当院に受診しております。次ページへ→

→前ページから 実際、年々がん患者さんは増加しており、院内のがん登録患者数は年々増加しています(図1)。また、がん手術件数も増加しており、一例として大腸癌手術件数の推移を示しました(図2)。

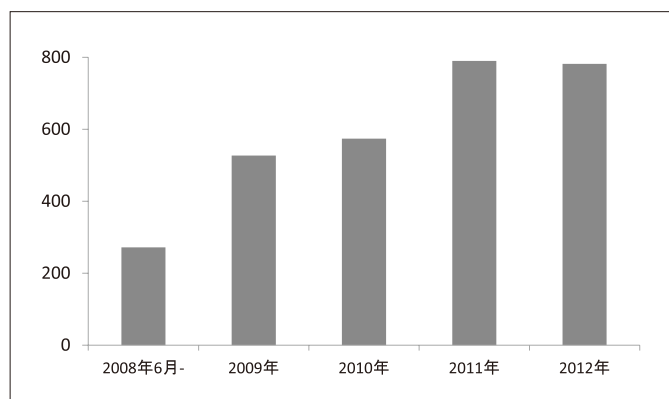


図1

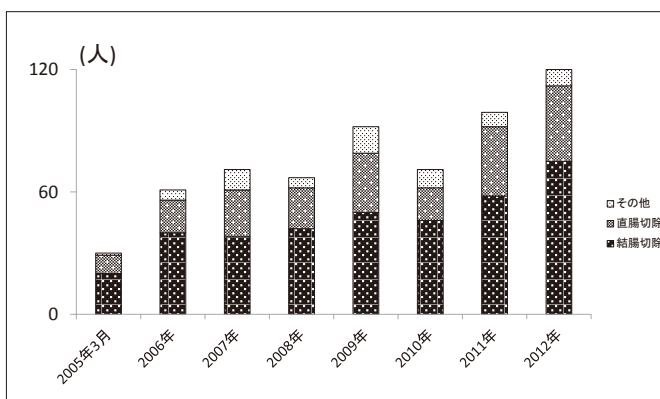


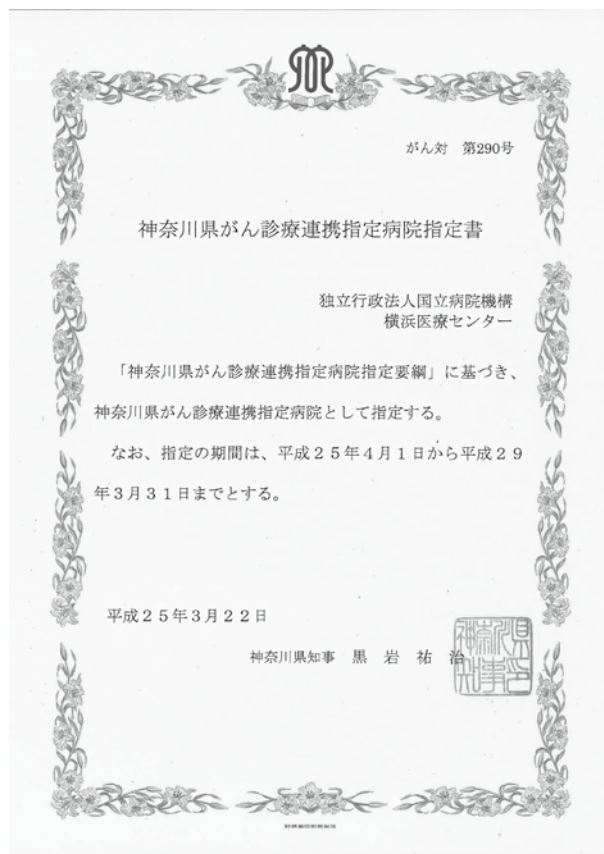
図2

このようにがん患者さんが増加している当院は、がん医療の均てん化を図るためにも、がん診療連携拠点病院に指定される意義があると考えられてきました。一方、神奈川県立がんセンターとはすでに機能分担が進んでおります。当院からがんセンターに紹介した患者さんは平成23年度は血液腫瘍を中心にのべ88人に上り、逆に、心疾患等の合併症を有するがん患者さんや、心臓血管外科の支援が必要な消化器外科手術を受けるがん患者さん等は、がんセンターから40人程度受け入れております。

当院は5年前から、がん診療連携拠点病院にふさわしい医療センターとなるよう整備を進めてまいりました。平成20年6月より院内がん登録を開始しました。平成23年2月に図書室を開設し、平成24年8月に相談支援センターを拡充、さらにウェブページに、がん診療情報を掲載し、がん患者さんへの提供サービスの向上に努めてまいりました。平成24年度には公開医療講座で、肝がん、胃がん、大腸がん、肺がん(3月7日)をテーマに年4回開催し、一般市民に対しがん診療に係る啓発に努めているほか、7月から患者サロンの会(たんぼぼ)を実施し、隔月で行い、患者さんへの精神的なケアの面でも充実を図っております。さらに、がん医療の質向上のために、県単位型緩和ケア研修会を平成24年12月1日、2日に渡り開催しました。本研修会には他の医療機関のスタッフも加わり、医師16人、医療従事者11人が研修を終了しました。また、地域のがん診療に関わる医療機関の医師等を対象として、照射後の外来診療の要点を含めた消化器癌に対する放射線療法の現状、早期診断を含めた胃癌診療、副作用対策を中心とした消化器癌がん化学療法の研修を行いました。

今回の神奈川県がん診療連携指定病院の指定を受けるにあたっては、地域の医療機関の皆様、ご家族を含めたがん患者さんの多大なる支援をいただきました。この場をお借りして衷心よりお礼申し上げます。また、当院のがん診療連携支援室のスタッフは夜遅くまで準備のため尽力いただきました。深甚なる謝意を申し上げます。

今後は、この神奈川県がん診療連携指定病院の名に恥じないように、がん診療の質向上に日々努めてまいります。地域の皆様におかれましては今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



お知らせコーナー

ジェネリック医薬品ってどんなお薬？

副薬剤科長 藤本 和利

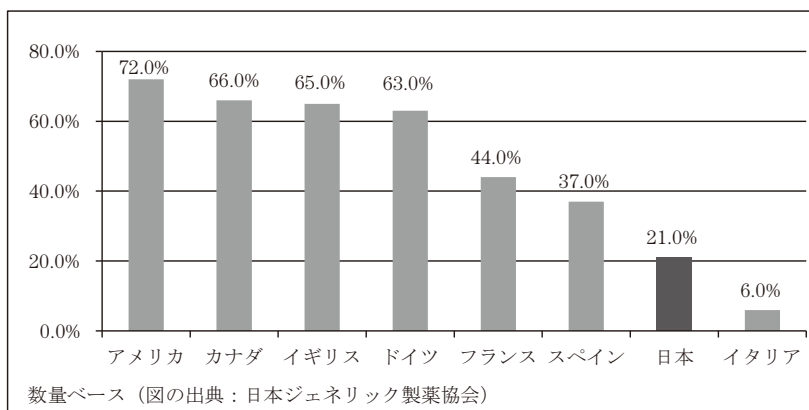
近年、TVコマーシャルなどでよく耳にするジェネリック医薬品ですが、当院でもジェネリック医薬品の有効活用を推進しています。では、いったいジェネリック医薬品とはどんな医薬品なのか。

今回は、この「ジェネリック医薬品」について御紹介します。

医薬品には、「新薬（先発医薬品）」と、新薬の特許切れ後に発売される「ジェネリック医薬品」がありますが、ジェネリック医薬品には以下のような特徴があります。

- *厚生労働省が認めている医薬品である。
- *新薬と同じ有効成分で、効き目・品質・安全性が同等なお薬である。
- *新薬より価格が低く設定され、日本の医療費削減にも貢献出来る。
- *ジェネリック医薬品の普及は、国民皆保険制度の維持に役立つ。

このように価格が安く安全面でも遜色のないジェネリック医薬品ですが、実際に日本での浸透率を諸外国と比較しますと、下のグラフに示した通り、20%程度とまだまだ低いのが現状です。



厚生労働省の2009年のデータでは、今年年間医療費は36兆円。そのうちの薬剤費は8兆円にものぼります。もし特許がきれた新薬をジェネリック医薬品に替えれば、なんと年間約1.7兆円の医療費が削減可能になるといわれています。

もちろん、治療方針の拡大や難病克服のためには新薬の開発も欠かせません。

そこで、一般的に考えられているのが、

下に示した様にそれぞれの目的によって

使い分けるという方法です。医薬品の目的をしっかりと認識し、それぞれ使い分けをしながら社会保障制度の財源改善に努めていくことが求められる時代になってきたと言えます。

新薬	ジェネリック
難病の克服 治療困難な疾病の克服	長期間服用する生活習慣病薬 治療費が高い薬剤

摂食・嚥下外来のご案内

平成25年6月から、摂食・嚥下機能に障害のあるすべての患者さんを対象として適切な対処方法の提案を目的とした摂食・嚥下外来を開設致しました。

その中でも特に、食事ができるものの肺炎を繰り返して誤嚥が疑われる患者さんや、逆に、経管栄養中だけでも食べられる可能性が残っている患者さんが主な対象です。種々の検査を施行してできる限り正確な摂食・嚥下機能の評価を行い、その結果に基づいて、どこまでが安全でどこからが危険かを見定めて、適切な栄養摂取法を指導させていただきます。

下記のような症状の方は受診をご検討下さい。

- ・十分な量を摂取できない
- ・食事の時に頻繁にむせる
- ・誤嚥性肺炎を繰り返している
- ・胃瘻からの経管栄養中で経口摂取ができそうな方

なお、摂食・嚥下外来は、完全紹介予約制となっております。予約の際はかかりつけ医からの紹介状(診療情報提供書)が必要です。予約方法については、地域医療連携室(電話:045-853-8355)までお問い合わせください。

診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考	
外来受付 A	小児科	鈴木 陽一 榑佐 香織 交代医師	菅井 和子 矢竹 曜子 榑佐 香織	菅井 和子 交代医師 交代医師	鈴木 陽一 矢竹 曜子 交代医師	交代医師① 榑佐 香織 交代医師	①:第1・3・5週 福山 綾子、第2・4週 小林 慈典
	心臓血管外科	金子原 幸宏	休診日(手術日)	東館 雅文	東館 雅文	東館 雅文	木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)
	形成外科	瀬上 秀威 石ヶ坪 諒 鈴木 宙	村下 一晃 日塔 真昇 伊藤 リエ 日野 勝利	休診日(手術日)	村下 一晃 日塔 真昇 林 陸 伊藤 リエ	村下 一晃 石ヶ坪 諒 林 陸 高 倫浩	
	整形外科	大瀬上 秀威	大瀬上 秀威	大瀬上 秀威	大瀬上 秀威	大瀬上 秀威	★:予約患者のみ。
外来受付 B	総合内科外来	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	糖尿病内分泌内科	小松 裕美子 高木 佐知子	高木 佐知子	宇治原 誠 ◎藤原 慧美	宇治原 誠	交代医師	◎:Aブロックで診察。午前のみ。
	神経内科	古宮 裕泰	岡井 美紗子	上木 英人	岡本 光生	高橋 竜哉	
	腎臓内科	松下 啓	小宮 麻里子	山名 比早子	松下 啓		
	呼吸器内科	後藤 秀人	▽榑原 基史	山川 泰	休診日(検査日)	須藤 成人	▽:Aブロックで診察。紹介状持参の方のみ。
	消化器内科	塩原 康正 (初診)	松島 昭三(初診) 鈴木 大輔 小松 達司	小松 達司(初診) 松島 昭三	松島 昭三(初診) 野登 はるか 小松 達司	交代医師(初診) 小松 達司	■:午後予約のみ
	循環器内科	森 文章 内田 吉枝	岩出 和徳 網代 洋一(午勤)	田中 直秀	田中 直秀(午前)	岩出 和徳 森田 紗恵	②:第1・2週 田中 直秀、第3・4・5週 岩出 和徳
	リウマチ科	出口 治子	宮城 瑠美子 出口 治子	休診日 (検査日)	休診日 (検査日)	宮城 瑠美子 出口 治子	
	外科	清水 哲也 稲垣 里沙 山本 悠史	関戸 仁 松田 悟郎 齊藤 修治	松田 悟郎 杉政 奈津子 松本 裕輝	松田 悟郎 清水 哲也 稲垣 里沙	休診日 (手術日)	
	呼吸器外科		安藤 耕平 野間 大督 交代医師③	交代医師④	野間 大督 安藤 耕平 ◆向原 茂雄	坂本 和裕 野間 大督 藤澤 和彦 市川 輝夫 ●しびれ外来	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、直接ご連絡ください。 ③:第1・3・5週 岡田 富、第2・4週 宮原 宏輔 ④:第1・3・5週 瓜生 康浩、第2・4週 谷野 慎 ●:午後のみ。PM3:00まで初診を受け付けています。 ◆:第5週は休診。 ◇:脳ドックの詳細はPM2:00～5:00の間に「医事 脳ドック受付」までお問い合わせください。
	脳神経外科	休診日 (手術日)	手術日	◇脳ドック	手術日		
	麻酔科	田澤 利治		田澤 利治		田澤 利治	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	○佐々木 祐幸 手術日	○:予約外の診察には紹介状が必要です。
	眼科	木村 正彦 熊代 俊	木村 正彦 熊代 俊	木村 正彦 熊代 俊	木村 正彦 熊代 俊	休診日 (手術日)	火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。 (8:30～11:00)
	泌尿器科	本田 直康 奥野 紀彦	本田 直康 若田部 陽司	休診日 (手術日)	奥野 紀彦 若田部 陽司	本田 直康 高田 治子	
外来受付 D	皮膚科	宮田 聡子 船津 栄	宮田 聡子 船津 栄	宮田 聡子 船津 栄	宮田 聡子 船津 栄	宮田 聡子 船津 栄	水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼はお断りしています。 至急診察が必要な場合は、電話をお願いします。
	心療内科	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	
	精神科	折田 真央	大橋 茉莉子 藤原 将裕	古野 拓	山口 和己	土屋 美江 高石 政男	※月～金:初診の方は9時30分までに受付を済ませてください。(要紹介状、1日1名の予約制) 初診は左記の再診担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。
	産婦人科	長谷川 瑛 窪田 興志	奥田 美加 若林 玲南	窪田 興志 奥田 美加	乗杉 輝彦 高木 謙博	中村 秋彦 長谷川 瑛	初診には紹介状が必要。
歯科口腔外科	塩入 重彰 (再診のみ)	塩入 重彰 赤津 千絵 (午前初診・午後再診)	休診日 (入院手術日) ※急患はご連絡ください。	塩入 重彰 赤津 千絵 (午前初診・午後再診)	塩入 重彰 赤津 千絵 (再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30～11:00、初診急患は随時受付(紹介状から直接連絡ください)。再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診:紹介状又は診療情報提供書を持参してください。 詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。	
専門外来 (他の医療機関からの予約制)	小児科	アレルギー検査 ソサリス(10～4月) (矢竹)	腎臓外来(⑤) フォローアップ外来 (矢竹)	アレルギー(菅井) アレルギー(宮地)	フォローアップ外来 (福山) 1ヵ月健診 (矢竹)	アレルギー(内田)	⑤:第1・3週(火)長濱 ⑥:第1・3・5週(金)本井
	整形外科	アレルギー(菅井) 感染免疫・アレルギー (小林)	アレルギー(鈴木) アレルギー(小堀)	予防接種(交代制) 13:30-14:30 循環器外来 (鈴木)(月1回)	1ヵ月健診 (交代医師)	循環器外来(鈴木)	毎週15:00～16:00 予約のみ
	神経内科		スポーツ整形外科(林) ◎頭痛外来 摂食・嚥下外来 物忘れ外来				◎第2・4週(頭痛外来)、第1・3・5週(摂食・嚥下外来) 地域連携室を通して完全予約制
	糖尿病内分泌内科	糖尿病連携バス外来					
	腎臓内科	腹膜透析外来		腹膜透析外来	腹膜透析外来		
	看護部			糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来	糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来		
	外科		スキンケア外来	スキンケア外来	乳がん検診		
	耳鼻咽喉科				補聴器外来(午後)		
	循環器科			ペースメーカー外来	睡眠時無呼吸 症候群外来		
	精神科	物忘れ外来 助産師外来	助産師外来	助産師外来	助産師外来	物忘れ外来	初診には紹介状が必要。1日1名の予約制。
	産婦人科	母乳外来(午後) ▽母親教室	母乳外来(午後)	▽母親教室	母乳外来(午後)	母乳外来(午後)	▽:午後のみ。夫立会検査は第2、4週土曜日、第3週日曜日。 地域連携室を通して完全予約制(第1金曜日のみ)
	呼吸器外科				アスベスト外来(坂本)		
	放射線科	海津 久		榑多 政治	向井 佑希		9:00～11:00

初診 受付: 平日 8:30～10:00
再診 (予約外) 受付: 平日 8:30～10:00
休診 日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

◆編集後記◆

関東甲信地方は梅雨入りしたとみられると平年より10日程早く発表がありました。晴れの日が続き心地よい日々となっております。はらじゅくかわら版の発行も定期的な発行と行きたかったのですが、発行が遅くなりました。病院の情報誌として皆様方にご意見を頂きながら発行が出来たらと考えておりますのでよろしくお祈りします。